田原公民館報

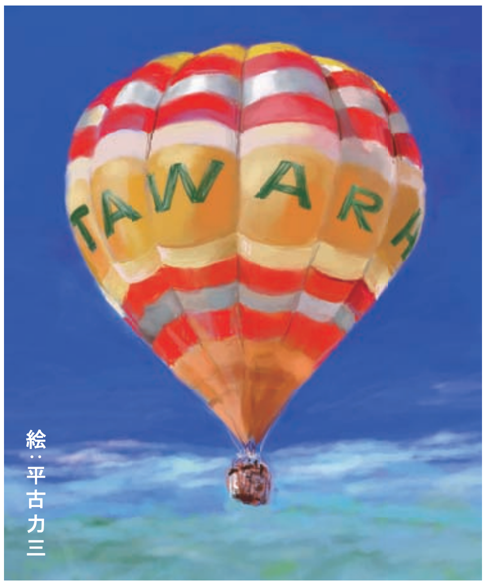
平成27年
新年号

発行
公益財団法人
奈良市生涯学習財団
田原公民館
奈良市茗荷町1078－1
TEL 81－0888
発行責任者
泉森 由貴

「俯瞰（ふかん）という視点」

館長 泉森（いずもり） 由貴（よしたか）

新年あけましておめでとうございます。田原の皆さまにおかれましては、輝かしい新年をお迎えのことと思います。ご家族お揃いで賑やかなお正月を過ごされている方もおられるでしょう。年の初めはどなたにとっても特別な時間ですね。



絵：平古力三

田原は冬を迎えています。半年前にあれだけ避けていた日が当たる道を、今は探して歩きたくなります。時折吹く寒風が地面を強く撫で、よどんだ空気を吹き飛ばしてくれます。高地に遮られるように日が陰り、早く夜を迎えると澄んだ空気が冬の星空を近づけてくれます。公民館の窓から一番星を見つける。そんな贅沢な時間もここにはあります。

さて、秋から昼休みの時間にサイクリングをしています。運動不足解消と自転車でしか行けないような新しい道を発見するために。自転車は車で走るのとは視点を変えて田原を感じることが出来ます。こんなに奥まで田畑が続いているのかという発見。坂を登り切った時にふと振り返った景色。途中で出会った人と交わす挨拶。地域を知るには館で待っているだけでなく、こちらから出向いていくことも大切だと思います。

特にルートを決めているわけではありませんが、帰ったら地図を開いてみます。何となく走った道がこんなところに繋がっていたのか、いつも館で顔を合わすあの人はこの道を通ってきてくれているのかと。ふとそんな思いを馳せます。地図を開くと大きな視点で町全体を俯瞰（ふかん）して見ることが出来ます。私達が普段見ているのはほんの数メートルの世界です。ものの感じ方、考え方も同じです。意識がいくのは近くにあるものだけになりがちです。でも視点を変えて広く物ごとを見ることが出来たら、気持ちも考え方も変えられるような気がします。田原全体のための公民館。奈良全市のための田原公民館。今年も大きな視点で田原らしい、ここならではの事業を進めていきたいと思っています。

当新年号よりタイトルをレトロでモダンなものに一新しました。ここは人が集い、出会い、学び、繋がる、田原公民館です。平成27年もどうぞよろしくお願いします。

新春によせて

田原地区自治連合会長 浦辻 俊一

「新年あけましておめでとうございます」地区の皆様方におかれましては、新しい年を迎え、今年一年の目標などをお考えいただいているところではないでしょうか。日頃は自治連合会の活動にご協力いただき、ありがとうございます。昨年は、全国的に異常気象による風水害や地震など災害に係わる出来事が多く、我が地区でも台風時に避難勧告が発令されるなど、過去に経験のない状況への対応に追われたところです。また、国の事業で地域活性化を目的とした「地域おこし協力隊」のメンバー2名が市より我が地区へ派遣され、少しずつですが、イベントや行事に参画いただき地域活性化の起爆剤として頑張っていただいています。これからも皆様方と共に災害に強く、地域が元気になる様々な取り組みを目指したいと考えています。今年も穏やかで皆様方にとりまして幸多い年でありますことを祈念し新年の挨拶とさせていただきます。

田原地区担当地域おこし協力隊です

過疎地域の担い手として地域おこし活動の支援や農林業の応援など地域協力活動に従事し、地域の活性化を図る「地域おこし協力隊」。瀬戸山さんに続いて田原にもう一人着任されました。ご紹介いたします。

よろしくお願いします

地域おこし協力隊 佐伯 雄

初めまして。私、佐伯 雄（さえき ゆう）と申します。妻の真弓、子の俊太郎と家族3人で島根県の美郷（みさと）町から、ここ田原地域の長谷町に引っ越してきました。出身は夫婦ともに大阪なので両親とも近くなって喜んでくれています。まだ数週間しか経っておりませんが、地域の人たちとお話しさせて頂く機会に恵まれ、刺激的な日々を過ごさせてもろてます。

前職も地域おこし協力隊として、島根県の美郷町で2年4ヶ月間活動していました。内容は草刈りや農作業の補助、炭焼きに猪の捕獲解体、こどもたちの遊び場つくり、無農薬、手作業による田んぼへの挑戦と、地域の人々の手ほどきを受けながらの活動でした。また聞いてくださいね。

地域の皆さん、若輩も若輩の佐伯家族ですが、よろしくお願いします。寒くなってきましたので、ご自愛くださいませ。

田原やま里博物館めぐりコーナー

取材：平古力三
写真：泉森由貴

第9回は「藁（わら）工房 巽」の館長 巽（たつみ） 康容（やすたか）さんの登場です。

初冠雪もあって、お正月準備にあわただしい師走となった第9回の田原やま里博物館めぐりは、藁工房の巽館長に登場していただきます。▼この時期は注連縄（しめなわ）作りでお忙しいでしょうね。●一昨年12月のＮＨＫの放送から色々な方から頼まれるようになって3種類の注連縄を作っています。

▼藁は農作業で重要な物だったと思いますがいつごろ勉強されたのですか。●確か中学3年の農業の時間に、中学校の先生から習いました。米俵やむしろなど農作業には欠かせないものでした。当時は牛とから鋤で田畑を耕していましたから牛小屋もありました。それから3年ぐらいでミニ耕運機が普及し出しました。10年もすると村で40万円もする大型機械を共同購入して、みんなで10町歩を耕作していました。▼巽さんはジャンボかぼちゃ作りで3年連続一位を獲得されていますが研究熱心ですね。●土作りをしっかりするぐらいで後は任せていますよ。▼注連縄の色つやにもこだわっているとお聞きしました。●はい、もち米の種10枚を5月初めに植えて、8月の穂を実のできる前に刈り込みます。これで、細かい作業ができる粘りと艶のある藁ができ、新年を飾る美しい注連縄になるんです。▼この注連縄も研究されたのですか。●そうです。ここ田原では注連縄と言えば玄関の間口いっぱいにまきつける長く編んだ物でした。ですから売られている注連縄を分解したり、作りやすいように改良した道具を作ったりもします。また、宝舟などは写真を撮って試行錯誤で作り方を考えました。こうやって鶴と亀の作品も、いろいろ工夫と手間をかけて、この形になりました。▼この鶴と亀はかわいいですね。これを注連縄作りの受講生の方々が見ると皆さん声をそろえて「作りたい」と言うんですよ。●以前2回ほど公民館でも作りましたね。時間の制約のある時には、初めての方でも簡単に作れるような人数分のセット作りが大変です。▼いつもすみません。田原公民館の事業ではお世話になっています。巽さんと、明誠会の皆さんに指導をお願いしていますが他からもお声がかかりませんか。●飛鳥、柳生の公民館でも指導しています。昨年は奈良市文化財課から古民家で作る注連縄作りの依頼もありました。▼やま里博物館のパンフレットを見て体験を申し込まれる方もおられますか。●おられますよ。3人以上は杣ノ川分館で講習もしています。▼ところで、巽さんの主要な農作物は何ですか。●米、大根、かぼちゃ、さつま芋を作っています。一昨年の大神神社の品評会ではさつま芋で一等賞をいただきました。今度はぜひお米でも入賞したいですね。▼ぜひ入賞して、田原の米をアピールしてください。

主催事業「チャレンジ和太鼓」今年度も10回の講座を終えました。

田原公民館で15年以上続く伝統的な講座、チャレンジ和太鼓。公民館が立地する環境とご近所のご理解のもと開催しています。今年も10人の受講生が無事修了しました。最終回は先輩の修了生や家族を招いて課題曲の発表会。全10回を終えての感想を参加者の今井光哉くんが寄せてくれました。

チャレンジ和太鼓に参加して

田原小中学校3年　今井光哉

ぼくは、今年チャレンジ和太鼓にさんかしました。

学校で少し太鼓をしたことはあったけど、すごくむずかしかったです。

でも、おしえてもらううちに楽しくなってきて、なれたらかんたんになってきました。

はっぴょうの日になるとちょっとはずかしかったけど、と中からははずかしくなくなってきました。

終わったら、たけにしさんに「アンコール」と、ゆわれました。

それで2回目をたたきました。それから初級の人（自主グループ田原太鼓風雅）がたたいてくれました。やっぱりうまかったです。

ぼくも初級になったらあんなふうにたたきたいです。

来年も、がんばりたいと思います。

「美しい富士山」を観においでください

三保の松原から望む富士山の絵を平古前館長が大きく壁面に描いて、新年の公民館の玄関を飾っています。

富士は日本一の山。一富士二鷹三茄子。初夢に富士山を観られなかった方もこの富士を観ればお大吉のおみくじをひいたような気持ちになれそうです。

今年の公民館もスタッフの持てる力や技を最大限に発揮して皆様をお待ちしております。本年もよろしくお願いいたします。

１月の公民館関係行事とお知らせ

財団キャラクター しか丸くん

８日（木）田原消防団出初め式
１７日（土）東部５地区新年懇親会
２２日（木）主催講座 プチ田舎暮らし
田原ー田舎のほせき（おやつ）ー巻柿作り
２４日（土）主催講座 第９回ＴＡＷＡＲＡキッズ「昔遊び」
２８日（水）都祁保健センター健康相談（公民館和室にて）
３０日（金）主催講座 第７回　老春塾「演芸　円」

●公民館貸館開始：1月6日（火）から
●連絡所仕事始め：1月5日（月）から